

Paics View について

- 1 開発者
- 2 開発履歴
- 3 配布とインストール

1 開発者

• 石川 岳志

岐阜大学 人獣感染防御研究センター 計算創薬研究分野

管理

- プログラムの管理
- テキストの管理

プログラムの作成

- *Paics View* の作成

テキスト作成

- マニュアルの作成

2 開発履歴

2011.01

- 入力ファイルの拡張
- エネルギーの表示ウインドウ
- 基底関数の設定ウインドウ

2010.04

- 開発版の公開

2010.03

- ベースシステムの作成
- 分子ビューアーの作成
- GUI の作成
- CUI の作成

3 配布とインストール

- Windows 用バイナリ

以下のライブラリが必要なので、インストールしておく。

- OpenGL (GLUT)

GLUT のバイナリを配布しているサイトからダウンロードし各自インストールする。例えば以下のサイト。

<http://www.xmission.com/~nate/glut.html>

ウインドウズ (32 ビット版) へのインストール手順を簡単に示す。

1. ダウンロードしたものの中に「 glut32.dll 」が含まれていることを確認する。
2. これをパスが通っているディレクトリに移動する。例えば、

c:/windows/system32

- Tcl/Tk

ActiveTcl のバイナリを配布しているサイトからダウンロードし各自インストールする。例えば以下のサイト。

<http://www.activestate.com/activetcl/>

ウインドウズへのインストール手順を簡単に示す。

1. ダウンロードしたものを直接実行する (ダブルクリックする)。
2. インストーラーの指示にまかせて進める。

- Linux 用バイナリ

公開を検討中。

ライブラリのインストールが終了し、 *PaicsView* が起動できるようになったら、マニュアルの「チュートリアル」に従って一通りの操作を試してみることを推奨する。